

キアンコウ

Lophius litulon

地方名
あんこう、あんこ、
げろ（鱒ヶ沢町）



生態

- ①寿命：13歳以上。
- ②成熟：メス体長50cm以上。
- ③産卵期：津軽海峡では6月～7月。
- ④分布：北海道以南から朝鮮半島沿岸および東シナ海まで分布。
- ⑤生態：主に水深200m以浅の大陸棚上に生息。水温の変化や産卵活動に伴い深淺移動を行う。水深50～80mの海底から容易に水面付近まで浮上することが可能であり、ミズドリを捕食していたという記録もある。
- ⑥成長：キアンコウの太平洋北部海域での年齢形質を用いた解析は無く、成長は漁獲物体長組成からのみ推定されている。青森県むつ水産事務所が実施した標識放流では、41個体が再捕されており、そのうち、最も成長した個体は、全長40cm（推定体重1.07kg）で放流された個体が351日後の再捕時には58.9cm、2.9kgに成長した。標識放流結果から得られた関係式によると、太平洋北部系群に属する津軽海峡から太平洋にかけて生息するキアンコウは、全長40cmの個体は6ヶ月後に49cmに、体重2.0kgの個体は6ヶ月後に3.3kgに成長することが推定された。

主な漁業

キアンコウはほぼ周年にわたって県内全域で漁獲される。太平洋、日本海では底びき網、津軽海峡、陸奥湾ではさし網、底建網等での漁獲が多い。冬季及び春季から夏季に多く漁獲されるが、春季から夏季には価格が極端に安くなる。

漁獲と資源の動向

青森県海面漁業に関する報告書では平成17年から集計されており、キアンコウに関する長期間の漁獲データはない。漁獲量は平成17年以降、平成21年まで900トン前後で推移したが、その後は減少し、平成25年の漁獲量は467トンであった。

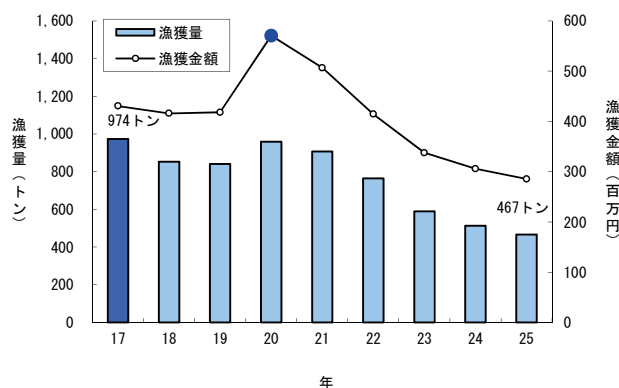
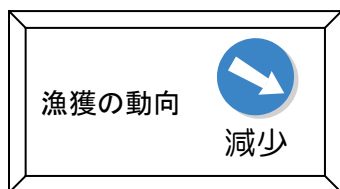


図 青森県におけるキアンコウの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

- 風間浦村きあんこう資源管理指針（風間浦村きあんこう資源管理協議会 平成21年10月）
 - ・全漁業種類において、体重2キログラム未満の生存個体の再放流について定めた。
- ☆むつ水産事務所がキアンコウの移動や生態調査のため、風間浦村沖で水温、水深を記録するデータロガーを装着した結果、ほとんどの期間水深200mより浅い海域に分布すること、産卵期にあたる春～夏（5～6月）には水深60～100mの浅い海域に移動すること、6～16℃の水温帯を好むことが判明した。